

まちなみ・景観部門

まちなみ・景観(屋外広告物も含む)のうち、安全・安心・魅力あるまちづくりに寄与したものを顕彰します。

フロインドリーブ(神戸市中央区)



ヴォーリスの名建築を今に伝える

- ヴォーリスの名建築、旧ユニオン教会を買い取り、老舗ドイツパンなどの販売、喫茶室、小会議室として、よみがえらせた。
- 外観だけでなく内部もほぼ教会のときのままをできる限り保ち、新たな神戸の観光スポットとなっている。

シューズプラザ(神戸市長田区)



「くつのまち長田」の復興シンボル

- ケミカルシューズ産業の復興シンボルとして、オープンした。
- 玄関口に設置された赤色の靴のモニュメントが、道を行き交う人々の目を引き、「くつのまち長田」をアピールしている。

阪急日生ニュータウン・グリーンエステート日生中央(川西市)



緑あふれる開放感あるまちなみ

- 隣地、道路等との境界に塀を設置せず、敷地、道路、公園等を一体的にした開放感あふれる住宅団地である。
- 周辺の景観に配慮しつつ、地区内に緑を多く配置することにより安らぎとあたたかみを感じさせるまちなみになっている。

市川町文化センター(市川町)



町の玄関口に伸びやかに広がる文化施設

- 高さを押さえ伸びやかに配された建物は、周囲の景観との調和をはかりつつ、播但連絡道市川南ランプ横にあり、市川町の玄関口のシンボル性も兼ね備えた文化施設である。
- 広大な正方形に芝生を敷き詰めたコミュニティ広場は、常時、住民に開放し、憩いの場として利用されている。災害時には避難場所としての利用も考えられており、住民の日常生活に安全、安心をもたらす役割も担っている。

道の駅「宿場町ひらふく」(佐用町)



まちなみと調和した道の駅

- 江戸時代に形成された町並みの面影を残す佐用川の石垣に並ぶ川屋敷、土蔵群の景観等に配慮し、建設された道の駅である。
- 建設にあたっては、地域の地域活性化組織「平福地区整備推進協議会」と協議を重ねた。

篠山城大書院(篠山市)



復元された城下町篠山の新しいシンボル

- 石垣と塀を残すだけの篠山城に城の建物復元を望む声を受けて、昭和19年に焼失した大書院を写真、絵図、発掘調査の成果等をもとに本格木造で復元した。
- 復元は、文化庁の国庫補助事業と市民の寄付金で実施され、全国で初めての本格木造による城書院の復元で、城下町篠山の新しいシンボルの役割を担っている。

洲本市新都心地区(洲本市)



古いレンガ造りのまちなみ

- 旧カネボウ工場跡地にあるレンガ造りの建物を保存・再利用して、新しいまちづくりに取り組んだ地区である。建物は現在、美術館・図書館・レストラン等に利用されている。
- この地にあった樹木の保存にも配慮するとともに、自動車の乗り入れを排除した、人にやさしい魅力ある地区を形成している。

